

平成29年 3月 8日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	刈谷市
連絡先	部署名	都市政策部都市交通課
	担当者役職・氏名	技師 久米 正宏
	電話番号	0566-95-0004
	FAX番号	0566-23-9331
	メールアドレス	tokou@city.kariya.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：自動走行システムの活用による高齢農業従事者の安全な移動

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

本市の高齢化率は、現在約20パーセントで今後も高齢化の進展が見込まれています。その中で、最近高齢者の自動車運転に係る交通事故の報道等が多くされ、社会問題となっています。

高齢者の従事率の高い本市の農業は、農業産出額の約4割が米作によるもので、提案の地区においては、本市農用地のうち約10パーセントに相当する田畑などの農地が集積しております。しかし、その地区では、周囲が田畑だけのような非常に見通しの良い平地で道路がほぼ直角に交差する交差点であるにもかかわらず、「田園型交通事故」が多く発生しています。この交通事故の要因としてコリュージョン現象という錯覚がありますが、高齢

者になるほど周辺視野の機能低下に伴うものといわれております。

特に、提案の地区では、農業従事者の約半数が60歳以上であり、その方々が日常、自宅から田畑へ移動する際、地区内の交差点で急ブレーキをかける回数が多い傾向にあり、いつ大きな事故が発生してもおかしくない状況にあります。そのことは、刈谷警察署や交通安全協会、企業等と協力して作成した刈谷市交通安全マップにおいても検証されており、農業に従事する高齢者の交通事故防止が課題となっております。

そのため、今回提案するのは高齢農業従事者の自動車免許返納後の代替交通手段の整備を念頭に、自動走行車を活用することで、高齢農業従事者の移動手段の確保と交通安全を確保するねらいがあります。

- (2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

実証地域の起点であるフローラルガーデンよさみ周辺は田園風景が広がる場所に立地しており、終点のJA あいち中央刈谷営農センターまでは田畑に囲まれた見通しの良い農道が大半になります。本来であれば自動走行システムにより自宅からそれぞれの田畑にアクセスすることを対象としたいのですが、車両待機場所の確保の観点から仮想場所としてフローラルガーデンよさみとJA あいち中央刈谷営農センターを選びました。また、田畑において生産した農作物をJA あいち中央刈谷営農センターへ安全に輸送することができるようになると思います。そして、この実証地域では公道ではあるものの交通量の少ない農道のため、実証実験の期間中において他の車両および歩行者の通行を禁止する道路使用許可の取得が得やすいと考えます。

刈谷市の農業は、兼業化の進展や農業従事者の高齢化による担い手不足が深刻化されており、今後も加速していくと考えられます。そのため、自動走行システムを活用することにより、運転に自信がなく運転免許を返納した高齢農業従事者の方が少しでも長く農業を営んでもらえるようにする必要があります。

(スペースは適宜広げて記載してください)

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

1 ルート（起点→終点）

起点：刈谷市高須町 フローラルガーデンよさみ

→ 終点：刈谷市小垣江町 JA あいち中央刈谷営農センター

2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

- ・バスルートは無いです。
- ・緑豊かな田園風景に囲まれています。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約 1, 1 k m
車線数	1 車線道路
道路構造	車道のみ
道路種別	農道
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	交通量は少ない
交差点	
起点・終点	起点：フローラルガーデンよさみ駐車場内 終点：JA あいち中央 刈谷営農センター駐車場 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

（1）道路の様子（主要地点数カ所）

写真 道路の様子（市道 3-823 号線）



写真 道路の様子（交差点）



写真 道路の様子（市道 3-806 号線）



写真 道路の様子（交差点）



写真 道路の様子（市道 3-806 号線）



写真 道路の様子（交差点）



写真 道路の様子（市道 02-27 号線）



写真 道路の様子（交差点）



写真 道路の様子（市道 3-802 号線）



(2)、(3) 起点、終点場所（駅、公共施設等）、車両待機場所

起点

写真 車両待機場所 兼 発着場（フローラルガーデンよさみ駐車場）



終点

写真 車両待機場所 兼 発着場（JA あいち中央刈谷産直センター駐車場）



6 高精度3Dマップの有無

ありません。

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

（1）本市の取組予定と平成28年度の実績について

平成28年度の自動走行車の実証実験では、本市も全面的に協力させて頂いております。県の自動運転実証実験の実施に合わせ、隣接小学校に通学し次世代を担う小学生に対して、自動運転技術の進捗や交通安全が向上することを実感して頂きました。また刈谷ハイウェイオアシスではオープンスペースを利用しPRイベント等の開催などにつきまして、関係者等との調整、予算措置（補正予算を含め）を講じております。

【実績】

平成28年度に貴県の協力の下、自動走行システムを活用し、近隣小学校の生徒と親を対象に試乗会を実施しました。

 **毎日新聞** 

自動運転車 市民試乗「ここまで進んでいるとは」 刈谷で実験 / 愛知

毎日新聞 2016年12月1日 地方版



乗用車の自動運転実験と市民の試乗会が、刈谷市東境町の刈谷ハイウェイオアシスで行われた。県が今年度中に15回実施する実験の8回目で、市民に自動運転の実態や技術に触れてもらう狙い。

実験では、測量技術開発会社のアイサンテクノロジー（名古屋市中区）が開発した自動運転システムを車に搭載。高精度3Dマップやレーザーレーダー、カメラなどで沿道の車両や人間、障害物を感知し、信号や標識を識別しながら、2・3キロの公道を走った。万一に備えて運転席に1人座ったが、全く操作せずに済んだ。

市民の試乗会では、森岡仙太副知事や竹中良則・刈谷市長、親子連れなど28人が参加した。1回2人ずつ乗り、敷地内の約1キロを自動運転で走行した。

試乗した親子は「ここまで進んでいるとは思わなかった。市販されたら、ぜひ乗りたい」と話した。【安間教雄】

(2) 平成29年度の愛知県自動走行実証実験とのコラボレーション企画について

自動走行実証実験のルート沿線で、刈谷市内の企業の協力を得て、愛知県の自動走行と同時以下の先端技術を来場者に提供する。

●民間企業と大学とのコラボ（調整済、時期は夏以降、面白い技術は秋口以降）

- ・自動車安全最新先端技術等の試乗等により、技術の啓蒙を図る
- ・事故の多い交差点における交通安全確保に向けて、ITS技術を活用した実証実験の実施
- ・研究機関による自動走行実証実験の実施 などを予定。

8 その他参考資料（ある場合は添付）

●本市における自動車の先端技術への平成28年度までの取組状況

(1) 自動走行関係

- ・名古屋大学へ実験場所の提供

実施者；名古屋大学

実施日；平成29年1月25日から2月1日（今後も継続実施の予定）

実施場所；刈谷市ミササガパーク 調整池

(2) 交通安全関係

①ゾーン30内の交通安全対策

- ・車速センサーを活用した電光表示板を活用した制限速度30km/hの遵守率の増加

実施者；愛知県ITS推進協議会、刈谷市、豊田都市交通研究所

実施場所；刈谷市東刈谷町地内

実施経過；ア) H26.7.12～h27.9.6 愛知県ITS推進協議会等による実証実験

イ) H27.7月～ 道路に狭さくを設置 刈谷市継続利用

ウ) H28.1～2月 時間経過に伴う効果の持続性調査（刈谷市）

②交差点における交通安全の確保

- ・ 自転車、自動車の検知機を交差点に配置し、「止まれ」の標識や「停止線」に発光体を取り付け、センサーの反応により、自動車や自転車の一時停止の遵守率を向上させ、交通安全を確保。

実施者；研究会（デンソー、刈谷市、豊田都市交通研究所他）

実施場所；刈谷市東刈谷町、小垣江町

実施経過；ア) H28. 2 ～ H28. 7 月 実証実験

イ) H28. 7 月 継続利用

ウ) H28. 12 月 効果検証